
新型コロナウイルス感染症にかかる 県内の感染動向等について

対象期間 4月11日～4月17日

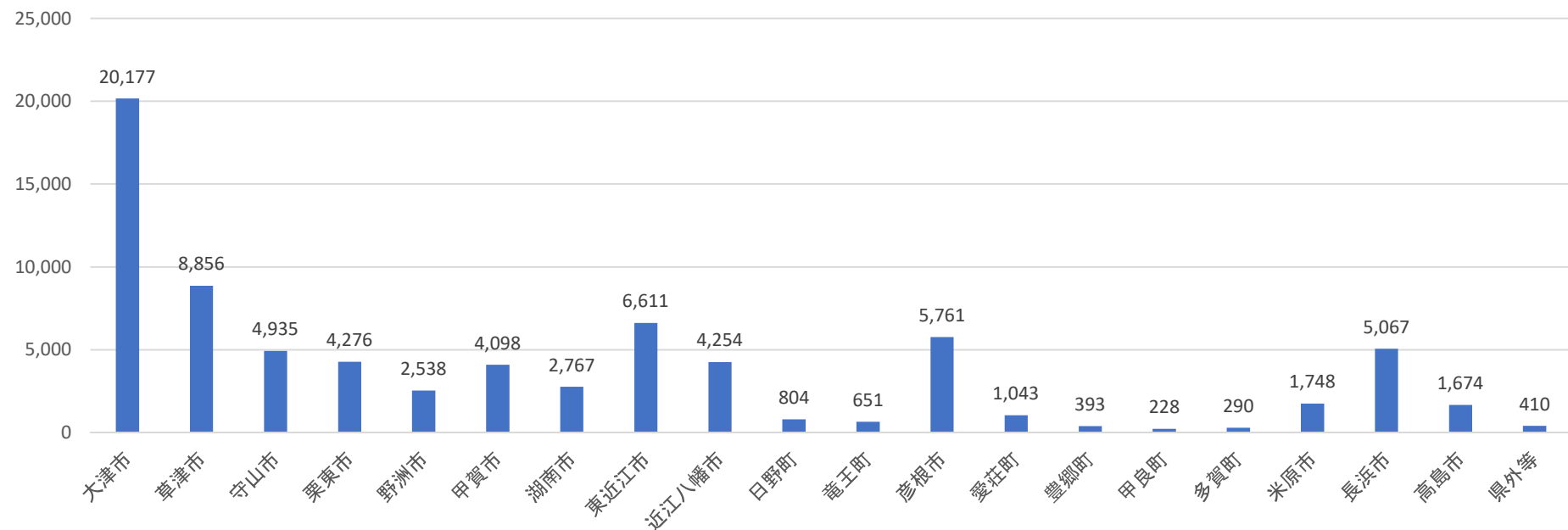
4月19日 健康医療福祉部感染症対策課

1、県内の感染状況について

1) 県内の陽性者発生状況

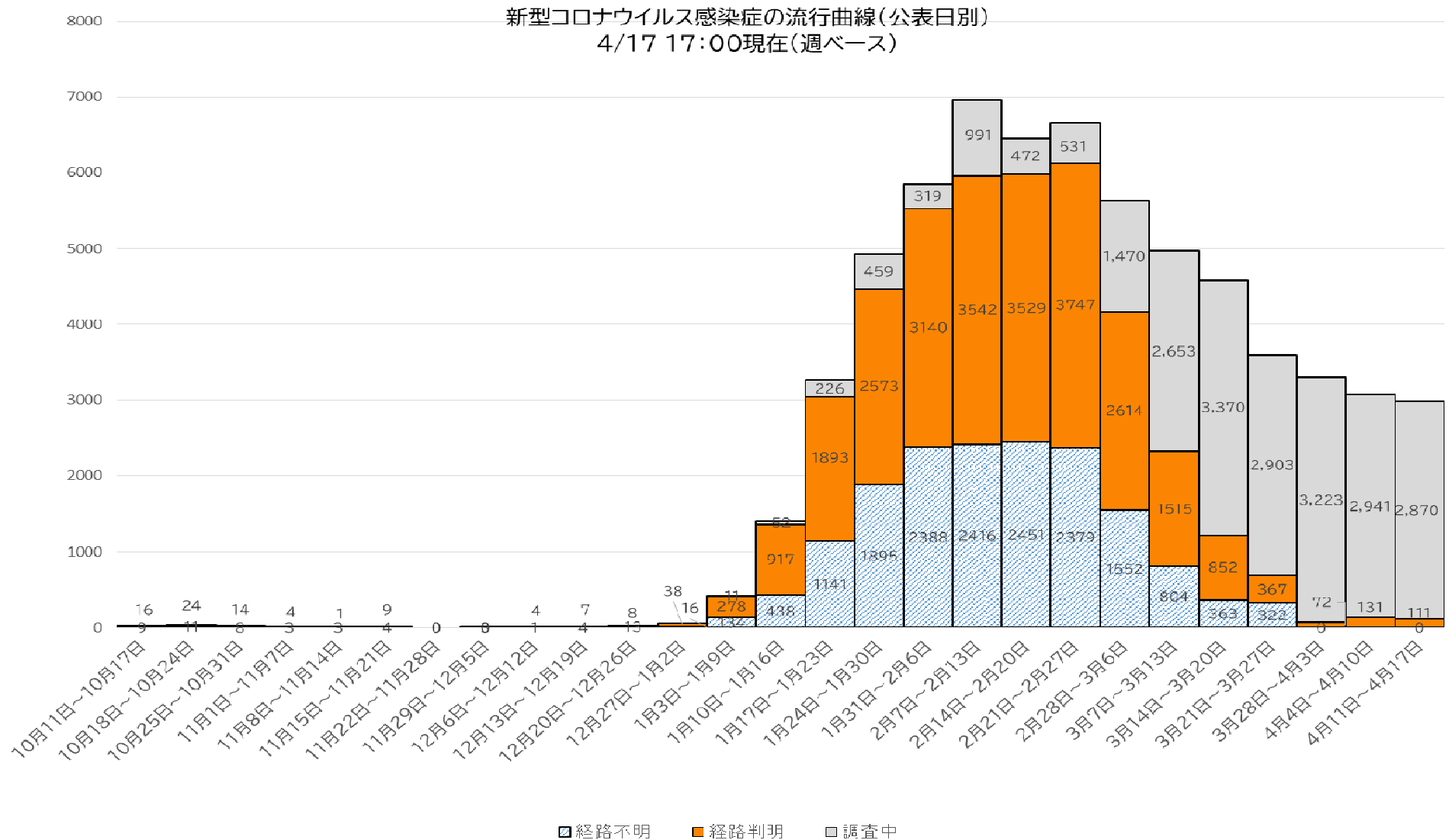
	新規感染者数
今週の報告数(4/11~4/17)	2,981人
累計(4/17時点)	76,581人

2) 市町別の累計陽性者発生状況



3) 県内の感染動向

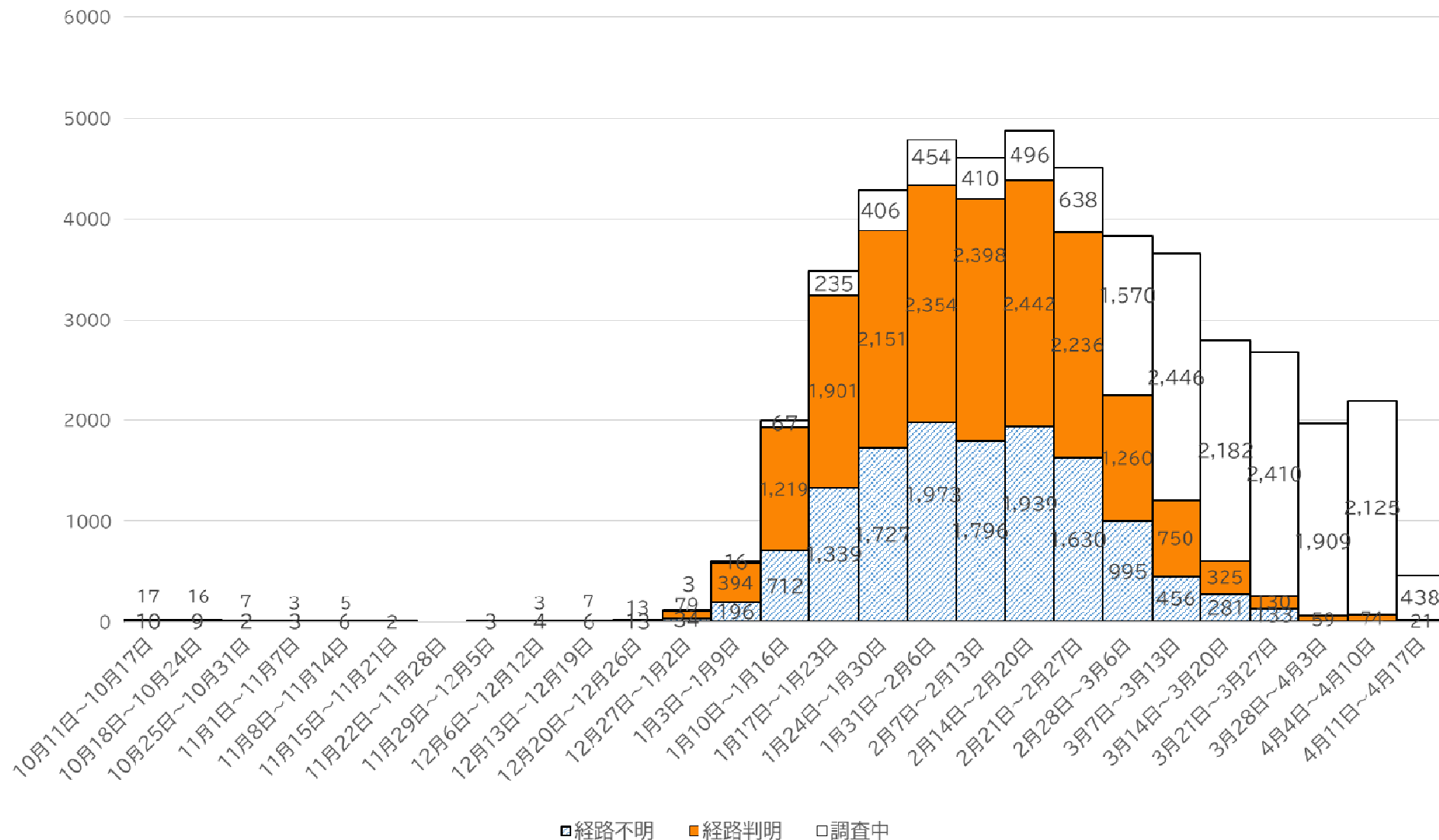
① 流行曲線(公表日別)(4月17日現在)



流行曲線：感染症の流行を経時的に観察し、流行の特徴を把握することができます。

②流行曲線(発症日別)(4月17日現在)

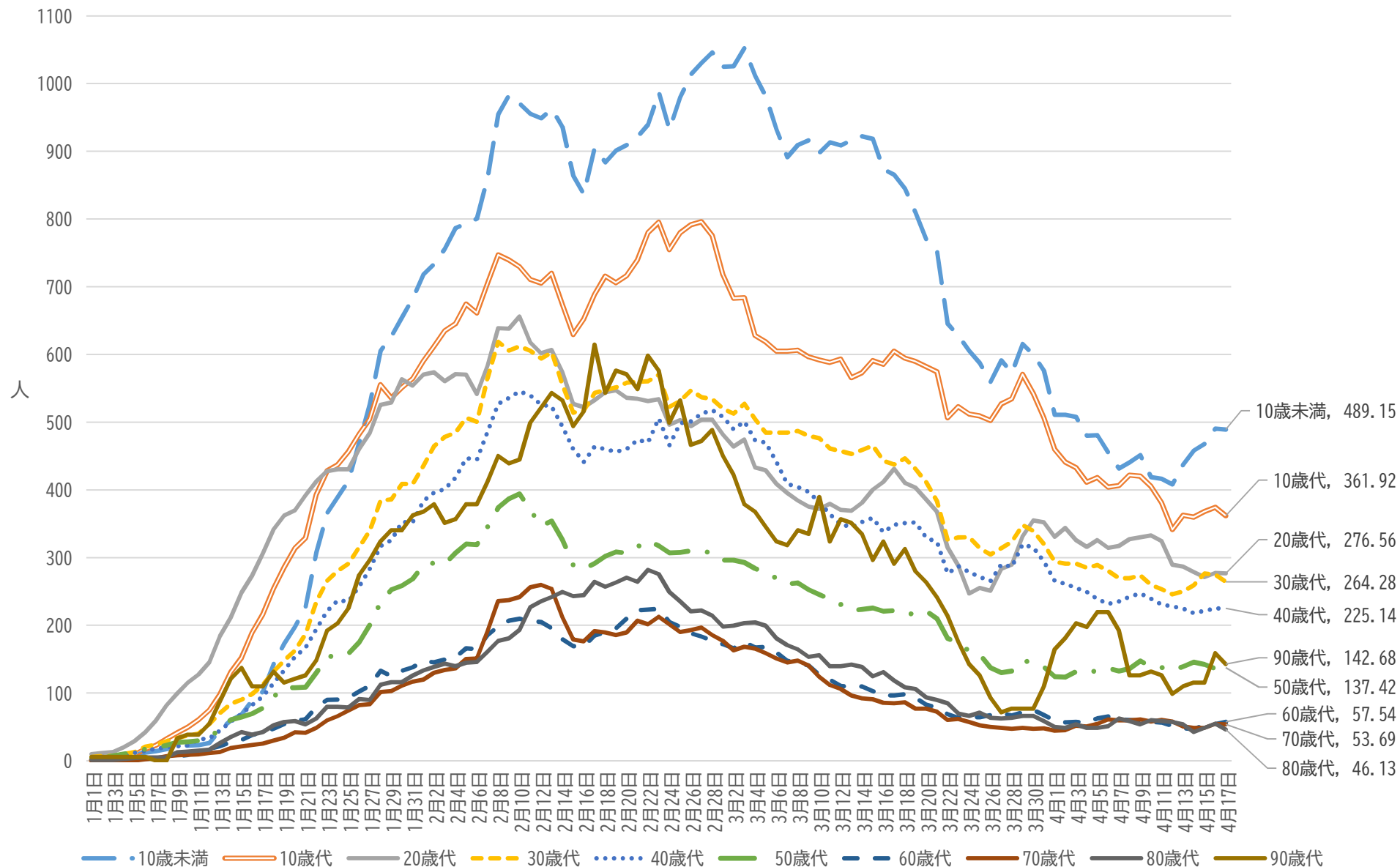
新型コロナウイルス感染症の流行曲線(発症日別)
(無症状者は除く)4/17 17:00現在(週ベース)



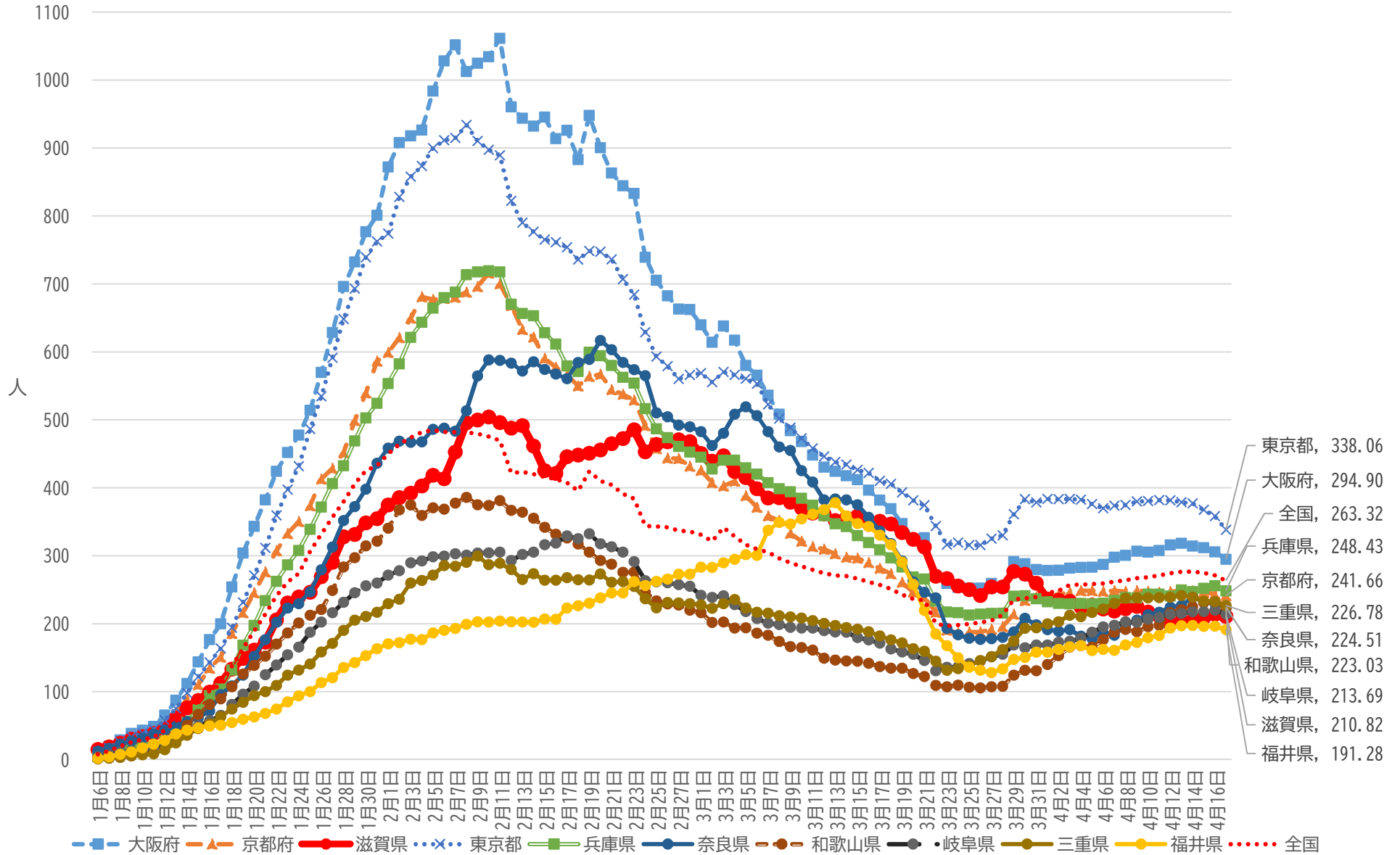
注)無症状者を計上していません。今後4/17以前に発症した患者が届出されることがあります。

4) 年代別 10万人あたりの新規感染者数推移

(公表日 直近7日間の累計患者数) (R4.1/1 - 4/17)



5) 近隣府県等の10万人当たりの新規感染者数の推移 (直近7日間の累計患者数) (R4.1/1 - 4/17)



2、県内の感染状況と体制について(4/17現在)

1) 県内の病床数および宿泊療養施設の状況

	県内 病床数	入院者数			空床数	県内 宿泊療養 部屋数	療養者数			清掃・修 理待ち	空数
			県内発生	その他			療養者数	県内発生	その他		
総数	500	146	132	14	354	677	139	139	0	56	482

2) 県内の陽性者発生状況

項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数	入院中				入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡					
			重症	中等症	軽症										
PCR検査数	360,545	4,752	132	0	21	111	4,481	139	71,625	204					
(うち行政検査分	157,998)										76,581	(うちPCR検査判明分	46,918)	(うち自宅待機	223)
(うちその他検査分	202,547)										(うち抗原検査判明分	29,663)	(うち自宅療養	4,258)	
抗原検査数	189,100														

重症：人工呼吸器またはECMO(体外式膜型人工肺)が必要

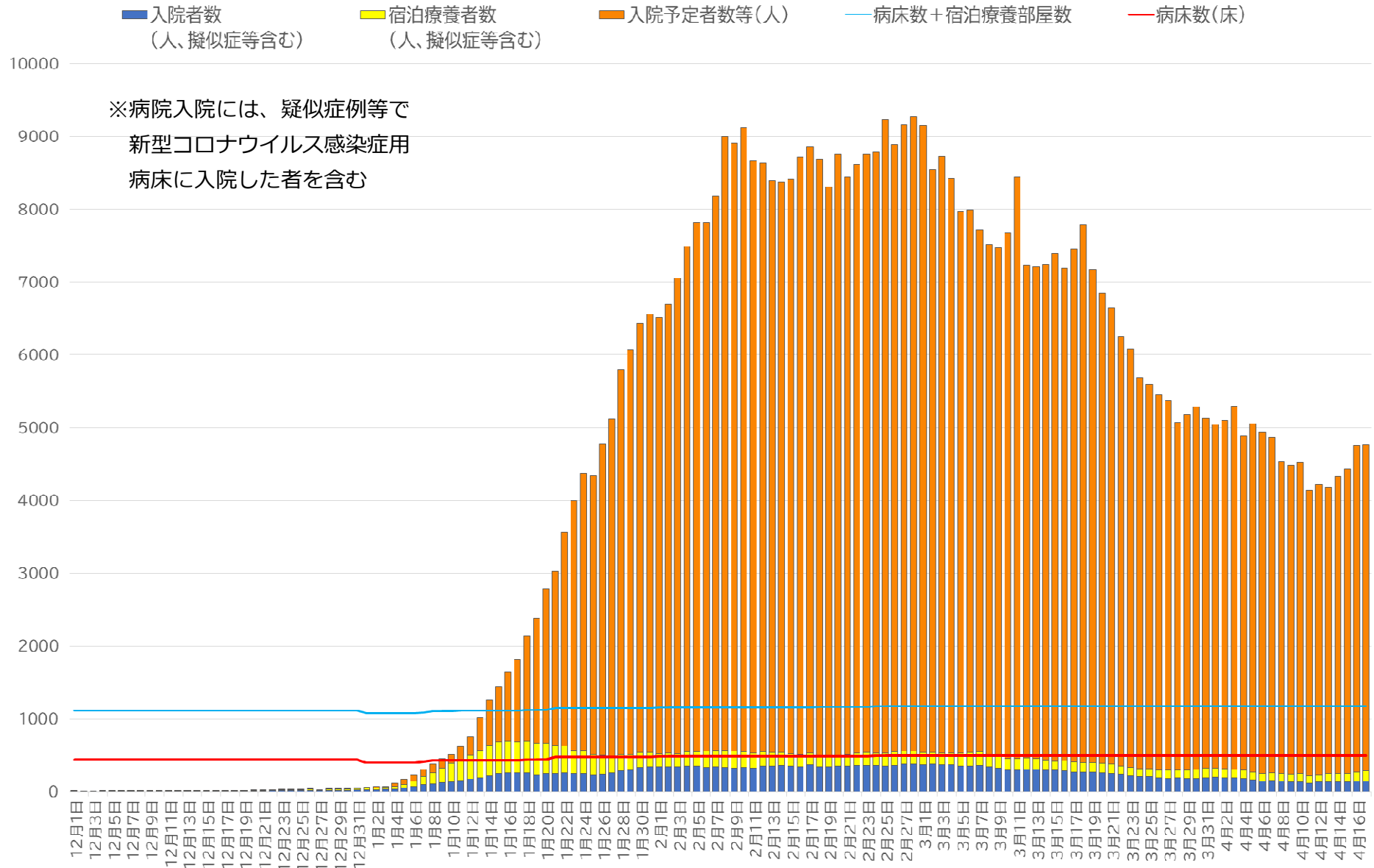
中等症：酸素投与が必要または摂食不可能

軽症：無症状または酸素不要、摂食可能

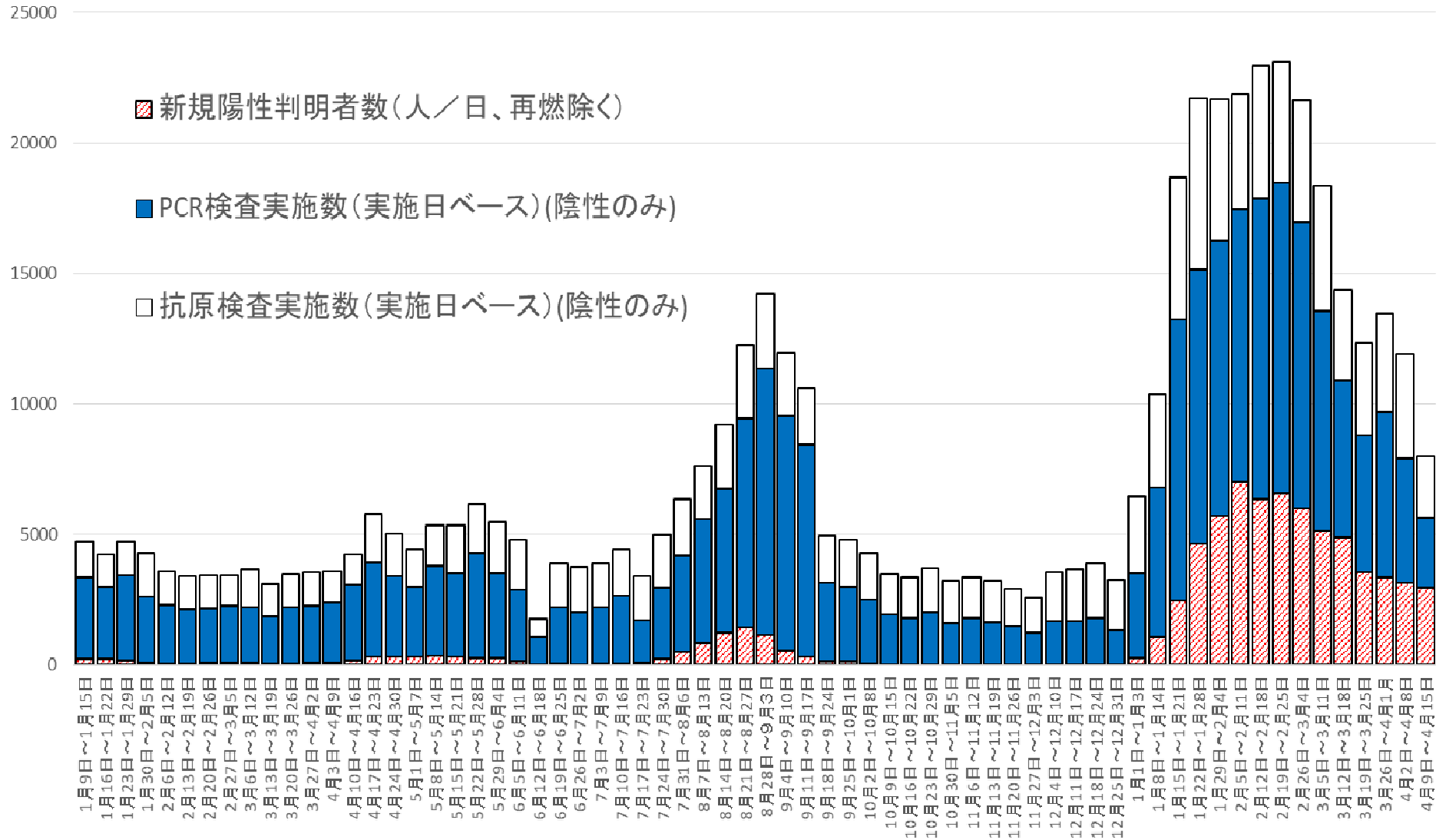
重症者以外のICU(集中治療室)利用者数

0人

3)入院医療体制について



4)PCR等検査の状況(陰性確認を除く)



5)陽性率(7日間移動平均)

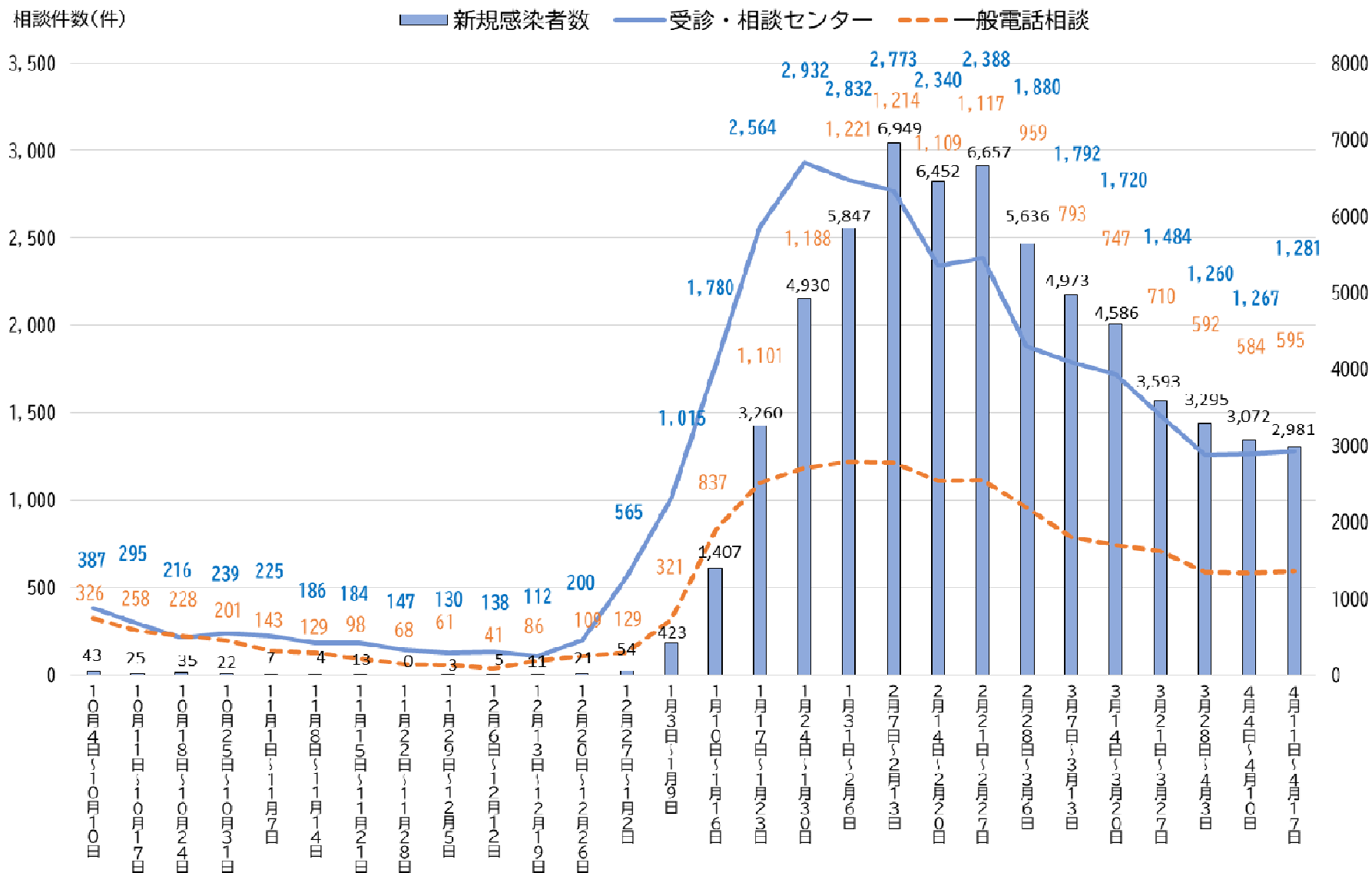


- 陽性率の7日間の移動平均（その日までの7日間の平均）を見ると、4月15日現在の陽性率は35.7%でした。

6)相談体制について

相談件数と新規感染者数（週計）

新規感染者数(人)



7) その他の県内の感染動向

現時点の確保病床数の占有率



重症者用病床の現時点の確保病床数の占有率



人口10万人当たりの全療養者数



直近1週間における人口10万人
当たりの新規報告数



評価(4/11~4/17の感染状況)

- 全国の1週間当たりの新規陽性者数は、人口10万人あたり200~300人でほぼ横ばいで推移しています。しかし、これまで比較的感染拡大が小さかった地方では、過去最多を更新するところも確認されています。大きなリバウンドにつながらないよう今後の動向に注視が必要です。
- 本県における新規陽性者数は前週比で7週連続で減少していますが、3週連続で0.9倍台と減少速度は非常に緩やかで、高止まった状況が続いています。病床使用率は20%台で、重症者用病床は低い値で推移しています。この減少傾向を確かなものにするため、対策の継続をお願いします。
- 保育関連施設でのクラスターが多発しています。10歳未満の感染者が増加傾向です。家庭内で他の家族への感染拡大にも十分注意してください。
- 介護関連事業所でのクラスターも多発しています。病院、福祉施設や障害者施設等では、施設内感染の予防を徹底してください。また、陽性者が施設内で療養する場合であっても確実に治療を提供できるように、嘱託医や協力医療機関と事前に調整しておくことが必要です。
- ゴールデンウィーク期間には都道府県をまたぐ人の移動が多くなることが予想されます。移動時を含め、会話する時のマスク着用、常時換気や密の回避など基本的な感染対策は緩めることなく、「うつさない」「うつらない」行動を心がけてください。
- 65歳以上のワクチン接種は進んでいますが、65歳未満の接種が少ない状況です。若い年代のワクチン接種を進めることも重要です。
- オミクロン株のBA.2やXE等新たな変異株が報告されています。感染力、重症度やワクチンの効果等不明な点も多くありますが、基本的な対策は同じです。